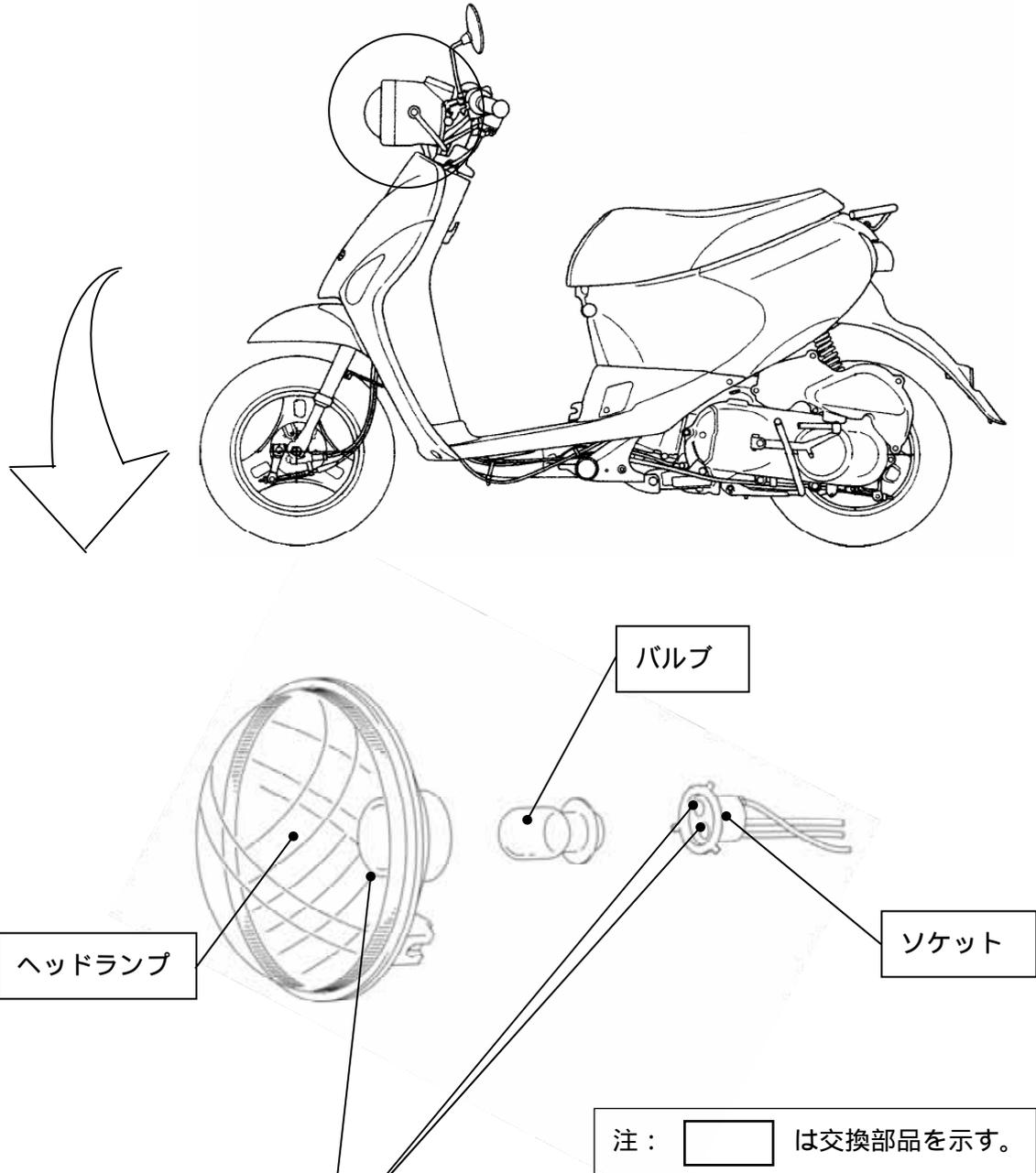


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

前照灯の灯火器の構造が不適切なため、放熱しにくい構造となっている。そのため、点灯時及び太陽光の熱により反射器が変形してバルブに傾きが生じ、光軸が変化することがあり、最悪の場合、ソケット部の半田が溶け、リード線が抜けて前照灯が不灯となるおそれがある。

改善内容

全車両、ヘッドランプ及びソケットを対策品に交換する。また、バルブを新品に交換する。

識別：青色のシールをヘッドランプハウジングに貼り付ける。